

# 刊夕 警城時報

日 九 十  
印刷所 加納活版所  
發行所 警城時報社  
一部金 貳圓 一月金 卅圓  
廣告料 一行十二字 卅五十錢  
日刊(日曜祝祭日) 日休刊

## 軍友續々々々傷つき

### 木村氏が隊の古参者

#### 上海方面の激戦ぶり

豫備隊が廿六日に這入つて激戦してゐる。  
來たのだが、此の中に平の斯様な中にも卅日〇〇の  
金成君や、磐崎の瀧君が居地を完全に占領してしまつた  
たが、廿八日出陣するや否や。今日届いた新聞で旗行  
や兩氏共に戦傷を負ふ。特別、提灯行列と言ふことが  
に金成君はあの四十米もあ見えたが、この激戦を考へ  
る〇〇クリックを勇敢にもたたらしても喜こんでゐる所  
越して敵の手榴弾によるものではない状態である。  
の即死の衛生兵からのれないう状態である。  
通過で驚ろいてさらけ行つて十一月三日明治節には祝酒  
補助擔架を走らせたら致命と菓子で御祝氣分になり〇  
傷ではなくて安堵した。  
斯様に枚舉に暇なき程の戦となつて、然し敵前線一線守  
戦者を出した、特に山口憲備である爲めに銃砲は絶え  
隊本部は十月廿日午後〇時三十分過ぎに、支那の兵隊も  
四十分敵の迫撃砲の爲め銃仲々逃げようとはせぬ、夜  
木副官、鹽澤軍醫外三名戦になつて必ず夜襲をやつて  
傷し佐藤軍曹以上二名即死した。

## 燈火管制第一夜

燈火管制の第一夜十八日夜  
は縣から山田地方課長、忽  
那工場課長が來平し市内全  
般に亘つて視察したが、左  
記各所は設備も完全で理想  
的の燈火管制が行はれその  
下で平常通り就業を續け他  
の模範となつてゐる。就中  
片倉製糖製糸工場は管制費  
約八百圓を投じ、平鑄鋼所  
も完全な設備で工場内二十  
萬燭光が完全に遮断され作  
業を續けてゐた。  
(工場) 平鑄鋼所、片倉製  
糸工場、吉井製鋼所、  
(旅館) 住吉屋本店、甲陽  
館。

## 防空演習

十九日好成績  
防空演習十九日は午後一時  
市内四町町自動車學校跡で  
第三分團の防務救護の演習  
を行ひ、午後三時からは第  
三小學校で第二分團の防火  
交通整理の演習を行つたが  
何れも成績良好であつた。

## 新川町の菊地さん

兄弟三人出征  
平市新川町十一番地菊地利次郎兩君が出征し第一線で  
雄氏弟豊治君は十九日勇躍活躍してゐるが、豊治君で  
出征したが、同家からは戸兄弟三人出征したわけであ  
主の長兄利雄君の外次兄も出る。

來旅順、奉天の戦の如く永  
久に戦に殘すのこのこと  
今師團長を初め參謀達が見  
學してゐる。  
大した所に兩角部隊山口憲  
隊もふつつかつたものであ  
る。然し戦史に殘るとなれ  
ば死者も浮かべると思ふ。  
(昨紙掲載本欄終りから  
十行前の左側にの次に「  
隊編帶所」が脱落につき  
補正す)  
二小名濱町立花雄七氏  
長男立花小隊長は戦傷した  
が全快再度出征してゐるこ  
と並に神谷村佐藤次三郎氏  
息佐藤長は決死隊を志願  
して第一線に突撃して戦死  
せしこと、並に僕達も夜襲  
する時は床の下を掘つて壕を  
つくりモグツツねること、  
市内民報、三田福新、市野  
民友三氏は來ると必ず俺達  
の所に泊ること、日清日露  
滿洲事變とは雲泥の差の激  
戦である。(以下削)

## 地方課長視察

理想的に實施した人々  
燈火管制の第一夜十八日夜  
は縣から山田地方課長、忽  
那工場課長が來平し市内全  
般に亘つて視察したが、左  
記各所は設備も完全で理想  
的の燈火管制が行はれその  
下で平常通り就業を續け他  
の模範となつてゐる。就中  
片倉製糖製糸工場は管制費  
約八百圓を投じ、平鑄鋼所  
も完全な設備で工場内二十  
萬燭光が完全に遮断され作  
業を續けてゐた。  
(工場) 平鑄鋼所、片倉製  
糸工場、吉井製鋼所、  
(旅館) 住吉屋本店、甲陽  
館。

## 鰯の大群南下

活氣づいた七濱  
石城各港連日賑はふ  
鰯群は愈々南下し目下の漁切らしてゐる時で而も一尾  
場は原釜沖合四海里乃至十八海里の所で含油量も四  
海里の海産物揚網船四十隻、濱相場も昨年は一圓  
二統は毎日四千貫宛の豐五貫(十二貫八箱)のもの  
漁で小名濱、江名、四倉等ののが今期は魚油高のため二  
倍の連日水揚げは圓の高値でこの分では昨年  
つてゐる。水産試験場の調度の鰯魚二百三十萬圓を遙  
查によると本期の魚群南下に突破するものと見られ  
は例年より一月も遅れたと云ふ、石城各港の鰯加工  
グリ網船は何れもピンを場も俄かに活氣づいて來た

## 山崎清三氏

慰靈祭に  
伊藤助役參列  
市内古銀治町山崎清三氏は平市伊藤助役は二十日若松  
故與三郎君に代り與三郎を  
市で舉行される戦病死者慰  
祭に參列した。

## 平小鐵道問題について

平市民諸君に告ぐ  
野崎 龍 輔  
星代議士の言を藉りて論  
するならば、子孫は大正  
だ元ふ、何人も同感で  
ある。其大切な子孫を教  
育する初等教育の責任を  
當たらせ、小學校長も次  
當たらせ、小學校長も次  
長も皆平市生れの體代の

## 昭和人編で

女舎監募集  
昭和人編會社から平職業酒の上の喧嘩から遂に相手  
介に女舎監四名の斡旋方をのこのッスを殺し懲役七年を  
依頼して來た、資格は中等  
求刑された小名濱町字松の  
學校卒業程度のもの、年齢  
三十四歳以上四十歳迄、給料  
は四十圓乃至五十圓である  
は四十圓乃至五十圓である

## 豊後四年

コソク殺し  
轉して居る平小鐵道が此  
三線何れに敷設せらるゝ  
も利害關係同じであるこ  
を御諒解願ひして置く  
唯一日も早く鐵道を敷設  
して豊城の商工業の發達  
を冀ふのみであるが  
平小鐵道は工事繰延べと  
なり無期延期の狀態であ  
る此非時局に無益の論争  
を遂ぐる事は考慮すべき  
であるが市民諸君の御判  
断を仰ぎ平市會の神聖を  
保持し其公正と信用を維  
持する點に於て己むを得  
ざる次第である。(續)

## 近藤技師保健

所敷地視察  
縣近藤技師は平市に設  
置される保健所の敷地八幡  
小路を青沼市長の案内で視  
察した。

## 農作物展

郡南方面  
田人村の農産品評會褒賞授與  
式は十八日、山田村の坪刈  
品評會は二十日、上遠野、  
入遠野、田人聯合の農産物  
品評會は二十三日から三日  
間入遠野に開き柴田技師  
審査する。

## 瀧少尉の

経過良好  
磐崎村長瀧也氏長男兩角  
部隊歩兵少尉瀧義勝氏は上  
海戦線で奮戦中右手に傷を  
負つて野戦病院で治療中  
であるが経過良好である。

## 八島伍長の

再び戦線へ  
小名濱町出身八島伍長は上  
海〇〇附近の戦場で砲彈の  
破片で顔面數ヶ所に負傷し  
野戦病院に收容され治療中  
であるが軽傷のため近日中  
再び第一線に立つ旨實家に  
通知があつた。

## 郡南方面

農作物展  
田人村の農産品評會褒賞授與  
式は十八日、山田村の坪刈  
品評會は二十日、上遠野、  
入遠野、田人聯合の農産物  
品評會は二十三日から三日  
間入遠野に開き柴田技師  
審査する。

### 謹告

今般亡父の名を襲ひ與三郎と改名仕候間先代同様格別の御交誼御引立を賜り度此段以紙上御挨拶申上候  
敬具

昭和十二年十一月

清三事

改名 山崎與三郎

平市古鍛冶町三

### 石炭値上御通知

磐城一等塊 一俵 金五十錢也  
磐城二等塊 一俵 金四十錢也

### 一、品川豆炭

大袋 五貫目入 金八十五錢也  
小袋 壹貫目入 金二十三錢也

一、コールドール本 (十五キロ入) 金九十五錢也

一俵ヨリ配達致シマスカラ是非御注文下サイ。

電話三七七番

平驛前

阿部石炭店

### 和洋銅鐵金物問屋

**久**  
**益**  
**屋**  
**商**  
**店**

諸橋久太郎

電話九九番

### 外科花柳病専門

入院隨意

平市六丁目

木村外科醫院

電話三〇九番

### 内臓外科

院長 安齋徹

新設  
産婦人科 醫學士 黒澤廣

平市田町

安齋醫院

電話四七五

### 耳鼻咽喉科

大和田醫院

平市南町(電話一七〇番)

入院自炊の便あり

産婦人科  
花柳病科

井坂醫院

平市田町(電話五五九番)

### 内臓外科 泌尿器科

### 北川外科

平市新川町二七

醫學博士 北川芳夫

技師 三浦常保

電話四六四番

◎晝夜診察◎  
血液検査毎日  
イソデモ  
入院出来マス

### かまぼく造り 折詰造り

お惣菜用さつま揚・吉原揚

平町一丁目

電話一四一番

### 耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男

(入院のお需に應ず)  
自炊の便あり

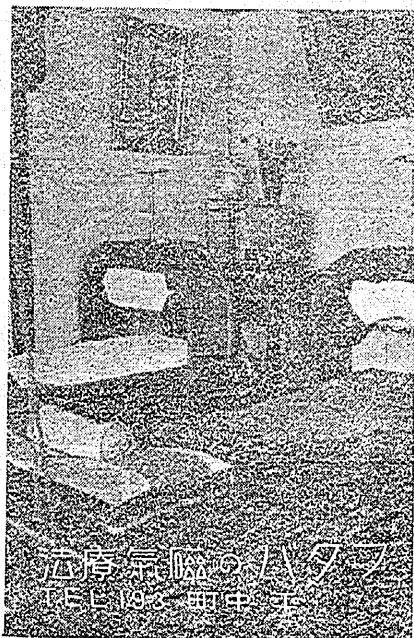
平市田町藤田女學校前 (電話五八番)

### 三井タクシ

平市二丁目 電話六八五番

加藤政英(儀)去ル九月七日滿洲國金河堡ニ於テ戰死仕候處十一月二十日若松市ニ於テ慰靈祭執行ノ上遺骨ハ二十一日午後二時五十分平驛着列車ニテ歸着可致候ニ付謹告候也  
追而葬儀ハ十一月二十七日午後一時内郷村字御所第一小學校ニ於テ村葬ニ依リ執行セラレ平市古鍛冶町松堂院ニ埋骨可致候  
内郷村字小島  
親戚總代 加藤武久 加藤正保

### 強力電氣應用 神經痛に特効



干やなぎの御注文は  
いか切込

ぜい  
**仙**  
魚店へ!!!

御祝儀用 鯉節

特に休裁優美格安に勉強仕ります

丸仙魚店 平市土橋(電話六六二番)